

たんぽぽ うしん

第19号

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会/アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3 TEL: 011-792-3969 / FAX: 011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail: info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 [発行] 2013年9月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円

法人設立35周年を迎えて

社会福祉法人 札幌協働福祉会 常務理事 宮野 英隆

月日のたつのは早いもので、もう35年もたつのかと思うと感慨深いものがあります。私も法人設立時は、35歳という若さでしたが、今年古希を迎えてしまいました。長い年月のようにも思いますが、あっといふ間のことのようにも感じます。

札幌協働保育園を創ろうと思い立ったのは30歳くらいのことで、色々と難しい課題もありましたが、当時、札幌市議の大内良一さんの強力なバックアップをはじめ多くの方々のご協力を得て1978年に札幌協働保育園・福祉会をスタートさせることができました。

それから10数年を経過して、辰田副理事長のアドバイスのもと知的障害者の通所施設＝あいのさとアクティビティセンターができ、その後ユーザー・父母のニーズにこたえ多くの事業所ができております。

平成23年3月11日の東北大災害に当たっては、全職員の協力のもと、石巻市・田村市支援を行い、今日の福島プロジェクトにつらなる、『社会福祉の原点的活動』に取り組んできました。

私たちは、これまでの実践を通じて、『地域貢献活動』『ノーマライゼーション』『ジェントルティーチング』『社会福祉の原点的活動』の大事さを体験してきました。

今、札幌協働福祉会は世代交代期を迎えております。若い幹部の方々は、上記の観点を基本に据えながら実践に取り組んでいただきたいと思います。

最後に、札幌協働福祉会を大きく育ててくれた拓北・あいの里連合町内会をはじめ多くの方々にお礼を述べたいと思います。

行事予定

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 10月5日(土) アクターズ15周年記念公演
場所：札幌市子どもの劇場 やまびこ座
- 10月6日(日) 仁木うまいもんじゃ祭り参加
(フルーツパーク仁木)
- 10月12日(土)～14日(月) 十勝・浦河旅行
- 10月26日(土) あいのさとジャズナイト
場所：拓北・あいの里地区センター
- 10月27日(日) 法人35周年 講演会、祝賀会
場所：ガトーキングダムサッポロ
- 11月2日(土)～3日(日) 釣り旅行(洞爺)
- 11月9日(土) 法人運動会

第16回 文化フェスタ



ステージ発表、ビンゴ大会など
楽しさ満載の2日間

◎日 程：10月5日(土)・6日(日)
◎場 所：拓北・あいの里地区センター
◎主 催：拓北・あいの里地区センター運営委員会

*詳細は、下記までお問合せください。
TEL 011-778-8000 (地区センター)

昨年
の
ス
テ
ー
ジ
発
表
の
様
子



新人職員紹介 ~その②~

「夏の福島プロジェクトに参加して」



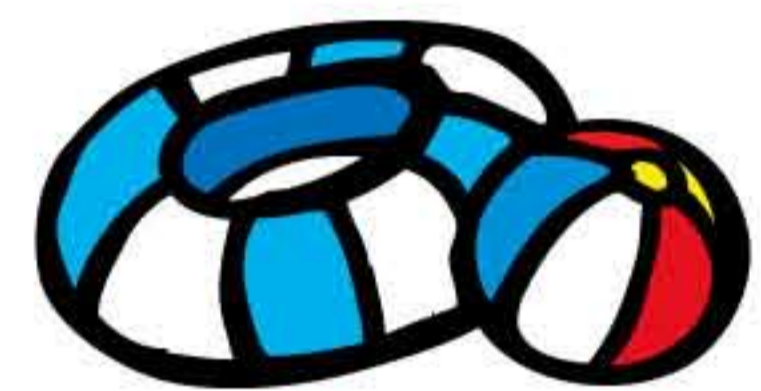
今回、私は3週目に参加させていただきました。3週目では、ドライブをして温泉で入浴したり、海水浴、バーベキュー、カヌー体験、夜には星空を観るなど、さまざまな体験をしました。晴れた日には、山の家の前で虫やトカゲを採取したり、スタッフとキャッチボール、ゲストハウスで生活をする子どもたちとも遊び、外で体をたくさん動かして過ごしました。春に出会った頃よりも名前を覚えてくれていたり、子どもたちから積極的に関わ

あいのさとサポートセンター 川村 澪

ってくれたり、子どもたちから話しかけたり、関わったりしてくれる機会も多く感じました。

3週目ということで疲れが見られる子どももいるようでしたが、子どもたちの楽しそうな姿をたくさん見ることができました。「福島プロジェクトにまた参加したい」と話す子どもたちがいると知り、子どもたちにとって良い思い出ができたのだと思います。

今回、夏の福島プロジェクトに参加させて頂き、ありがとうございました。



今夏の福島プロジェクトへの参加により、今春に引き続き二度目の参加となりました。一度経験しているとはいえ、参加されている子どもたちに危険が及んでしまわないか、そして自分はスタッフとして子どもたちの拠り所に少しでもなれるのか、自分の中の不安が尽きることはありませんでした。

私が担当させていただいた体育館でのよさこい(よっちょれ)活動では集中して取り組む子どもが多く、集団全体が一つの物事に集中して取り組んでいる様子を見てとても嬉しく感じ、子どもたちから逆に自分がパワーをもらえました。そして、よさこいという一つの活動を通して私自身が子どもたちの拠り所に少しでもなれて

たくあい療育センター 北越 裕也

いたならば幸いに思います。

今夏の福島プロジェクトを通して子どもたちとスタッフ、相互に得られたものがあつたならば、そのような気づきこそが最も大切であると共に素敵な経験であると私は考えています。



8/23(金)

札幌協働保育園 遠足

今年の遠足は、協働福祉会のバスを利用して新千歳空港に行ってきました。

みんなでバスに乗るだけでも大興奮の子どもたち。高速道路のアンダーパスをくぐった時には「キャーッ」と大歓声があがりました。

空港ではガイドさんによる見学ツアーに参加。展望デッキから運良くポケモンジェットの離陸を見ることができました。シュタイフネイチャーワールドではぬいぐるみの動物の世界を



のぞくことができ、実物大の象にまたがり写真も撮りました。最後に美味しい手作りのお弁当とおやつを堪能し、思い出に残る楽しいバス遠足となりました。



空港のお兄さんが案内してくれました



タイミングよくポケモンジェットが飛びました



象の高さにちょっとドキドキ…

8/23(金)

あいの里協働保育園 遠足

月に1回のお弁当日、4歳児きりん組さんは「百合が原公園」へ遠足に出かけました。

年長ぞう組さんと一緒のお出かけは今までもありましたが、きりんさんだけの遠足は初めて！

JRの駅には1歳児のあひる組さんと園長がお見送りに来てくれました♪

切符を改札に通すのもドキドキ！「切符どっちが上だっけ？」「こっちだよ！！」子どもたち同士教え合ったりしながら無事に汽車に乗ることができました。



着いてからは2人ずつ手をつないで公園まで15分くらい歩きましたが、おしゃべりしながら歩いているとあっという間。

公園では遊具でたっぷり遊んで、最後に愛情たっぷりのお弁当を食べて帰ってきました。

心配していた雨にもあたらず、最後まで楽しい時間を過ごすことができて良かったです！



あひる組さんと園長がお見送りに来てくれました



百合が原駅に到着！！
乗客の方が手を振ってくれました



いつもと違う風景を見ながらのお散歩も楽しかったです

おもいっきり夏休み in 北海道 2013

7月22日から8月18日まで、3度目の夏を迎える福島プロジェクト「おもいっきり夏休み in 北海道」が行われました。

子どもたちは仁木町にある「山の家きょうどう」で生活を共にし、無事家族の待つ福島へと戻りました。

7/22(月)
~8/18(日)

活動の様子



7/24 余市町浜中で海水浴



7/22 山の家に着



7/22 自然体験学校の開校式



7/23 仁木町役場を訪問



7/23 カルデラ児童公園にて



7/24 井内農園でサクランボ狩り



7/26 スポーツで汗流す



8/9 余市川でカヌー



7/25 陶芸を体験



7/27 デンマークから助っ人登場



7/29 北区役所で阿部区長にあいさつ



7/30 浜中海水浴場でスイカ割り



7/31 北海道犬に「かわいい！」



7/31 碓井画伯によるアートの時間



8/1 真剣勝負!?



8/2 公園でのんびり



8/6 マークさんの英会話教室



8/6 水しぶきに歓声



8/7 五色温泉でお弁当タイム



8/8 バドミントンしたよ!



8/13 サクランボ山でプラム狩り



8/13 よさこいに挑戦



8/14 元気いっぱい遊具を満喫



8/15 ほくろゲーム



8/18 修了証書が手渡された



「おもいっきり夏休み in 北海道 2013」の参加者



8/18 思い出を胸に故郷へ

アクターズ15周年記念公演

「月のお姫さま」

10/5(土) 13:30開場
14:00開演

場所：札幌市子どもの劇場 やまびこ座

(札幌市東区北27条東15丁目 ※地下鉄東豊線「元町駅」から徒歩5分)

**入場料：一般当日 1,000円、一般前売 800円、中高生 300円
会 員 300円、小学生以下 無 料**

主 催：知的障がい者演劇上演実行委員会

お問合せ：TEL 011-792-4373/FAX 011-792-4371

(社会福祉法人 札幌協働福祉会 あいのさとアクティビティーセンター)

「600回の練習の成果」

木村 功 (アクターズ指導者)

15年目の「あいのさとアクターズ」の演劇。週1回の稽古を通算すると約600回の稽古を積んだ事になる。

題材を民話にとり、自由な発想から個性豊かな作品が誕生してきた。

毎週木曜日の10時。体を動かし声を出す。体操リーダー、発声リーダーは自分たちで決める。自ら管理するこの練習も毎週続けてくると参加者の生活の中に演劇が根付いて来るのを感じる。稽古後の話し合いではお互いを仲間として認め合い、アンサンブルや作品向上の為の問題点が話題に上る。

メンバーは現在20余名。

知的障がい者の演劇といっても特別な演劇ではない。誰でもがよく目にする普通の演劇が目標です。

作品選びと稽古には多くの時間が必要です。作品の流れがしっかり体に入るまでが大きな山です。そして繰り返し稽古をすると突然作品の流れがよくなります。メンバーの個性的な表現が現れます。今年の作品ではお姫様誕生の花火があり、侍の戦闘場面があり、そして驚きは、刀を捨てる侍の武器放棄の言葉が飛び出しました。その瞬間に立ち会った私たちは誇らしくなります。うれしくなります。

10月の記念公演は私達の心を動かす素晴らしい舞台になるはずですよ。

札幌協働福祉会設立 35 周年前夜祭

あいのさとジャズナイト2013

10/26(土) 18:30開 場
19:00スタート

場 所：拓北・あいの里地区センター

(札幌市北区あいの里 1 条 6 丁目 1-1)

出 演：HAMBURGER RISA HOUSE BAND

(ハンバーガー リサ ハウス バンド)

あいのさとジャズナイト 2013 は、札幌協働福祉会設立 35 周年前夜祭として、10月26日(土)に、拓北・あいの里地区センターで開催予定です。

米国黒人社会に同じ有色人種の仲間の一員として今に至るミュージシャン、山田ツクルさんをリーダーにしたグループです。

JAZZ と云われるモノには、金持ちのステータスめいた「無機的」なものもニッポンでは含まれます。今回は、ジャズの故郷アメリカのスタイルで楽しんでいただきたいと思います。ジャズ、ブルース、ソウルなど米国黒人がつくってきた音楽の真髓を贈ります。



■山田ツクル(ギター)

アイク&ティナ・ターナー・バンドのピアニストの誘いで渡米。30歳代を黒人社会で暮らす。そこでの音楽活動は、SP 時代から歌うブルース・シンガー、ミックキー・チャンピオンのドキュメンタリー映画「チャンピオン・ブルース」への出演や、サリナ・ジョーンズなどや自己のバンドでのツアーなど多岐に渡る。日本にツアーできたブラック・ミュージシャンがこう言っていた。

「あなたたちは知らないかもしれないが、ヤマダは、アメリカでは名前が通っているんですよ」と、自分たちの自慢のように彼を語る。そうした米国黒人社会との今に至る繋がりから、その伝統と音楽を日本で「有機的」に伝えるミュージシャンが彼である。また、全国のマニアに噂の【ハンバーガー・リサ】店主。

今回、オルガンに注目、ハモンド B3 レスリー・スピーカー使用、真空管システムを用意します。

どうぞ、本場仕込みのブラック・ミュージックをお楽しみに!

9/7 (土)

第19回 収穫祭

9月7日、恒例の札幌協働福祉会主催「第19回収穫祭」があいのさとサポートセンター特設会場にて開催されました。天気はあいにくの曇り空でしたが、大勢の来場者で賑わいました。



会場と一体になって踊る「すっこけダンスーズ」

拓北・あいの里連合町内会
松井会長のご挨拶



ユーザー代表
三上はるかさんの挨拶



あいの里ママさん吹奏楽団のみなさん



医療大学よさこいチーム



ドリームズマウン
テンの演奏



恒例のさっぽろ五郎連による阿波踊り



ストリートバンドの「くろまる」



司会でおなじみのヨネさんと
宮野常務理事による大抽選会

シンガーソングライター
松田 奈緒美さん



HSK たんぽぽらいん 第19号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻498号
[発行] 2013年9月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3
TEL: 011-792-3969 / FAX: 011-792-2887
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子
〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
TEL: 011-736-1724

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会
TEL011-792-3969
FAX011-792-2887 (福田、松岡)